

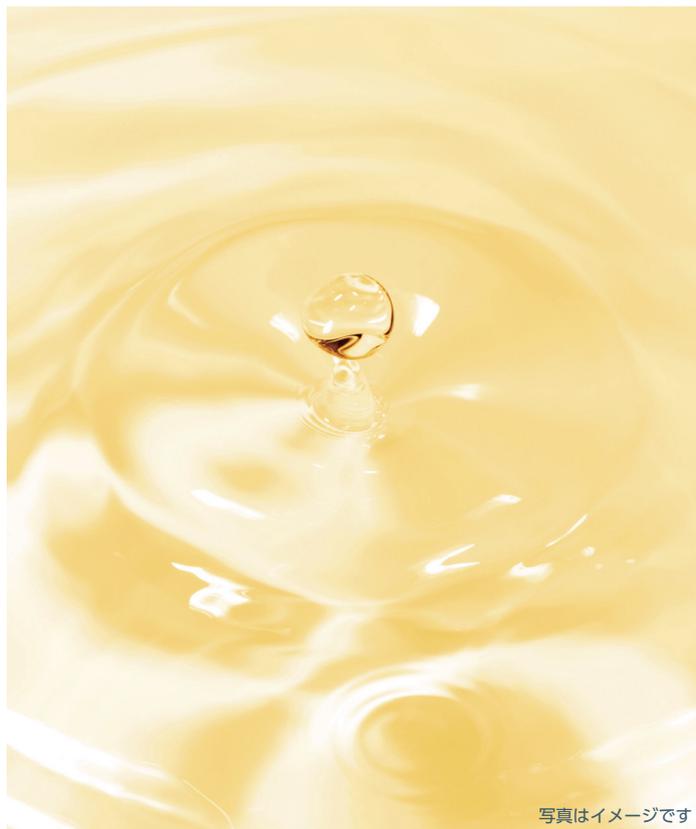
お取扱業者様向け

化粧品・食品用原料

日本生物製剤の プラセンタエキス

Japan Bio Products' Placental
Extracts for Foods & Cosmetics

プラセンタ。その大いなる恵み



写真はイメージです

母親の胎内で、胎児を守り、育むプラセンタ（胎盤）。一つの受精卵が胎児に成長し、新生児として誕生するまで必要な酸素や栄養素を供給しています。進化の過程において、哺乳類にのみ授けられたこの組織は、生命の誕生や維持に不可欠な生理活性物質を多様に産生し、新しい細胞をつくる遺伝子情報のシグナルを司るため、生命情報の「ライブラリー」と呼ばれます。プラセンタには、種々の生理活性を有するアミノ酸、低分子ペプチド、タンパク質、種々のサイトカイン*、ビタミン、ミネラル、脂質、核酸等が含まれています。

日本では、1970年代から慢性肝疾患・更年期障害・乳汁分泌不全などの治療にプラセンタ注射が使われるようになりました。その副効能として肌水分保持力改善、肌の光老化抑制、体調改善効果などが現れたことから、プラセンタの美容効果と健康維持効果に注目が集まり、様々な健康食品や化粧品にもプラセンタが使われるようになりました。

* HGF, NGF, EGF, FGF, CSF, IGF, IL1-4 等

安心の国内品質。トレーサビリティにも対応



日本生物製剤の製造する化粧品用及び食品用プラセンタエキスは、国内契約農場から収集された健康なブタやウマの胎盤を使用しています。教育を受けた契約農場が、定めた手順に従って胎盤を洗浄し、直ちに冷凍保管して品質を確保します。また、すべての胎盤の母体の健康状態、採取場所、採取日、洗浄日等を品質情報として記録・保管し、ロット毎に管理して、製品に使用した胎盤を遡及できる体制を確立しています。

こうして集められた胎盤は工場に送られ、その後は受け入れ試験から抽出後の品質検査試験まで全ての工程を、医薬品 GMP に準拠した厳格な管理下で行っています。製造工程の清浄度管理も医薬品 GMP に準拠して定めているほか、充填作業にはクリーンベンチを使用しています。

このように、一貫した胎盤の取り扱いに関する手順や遡及体制により、徹底した品質管理に努めています。

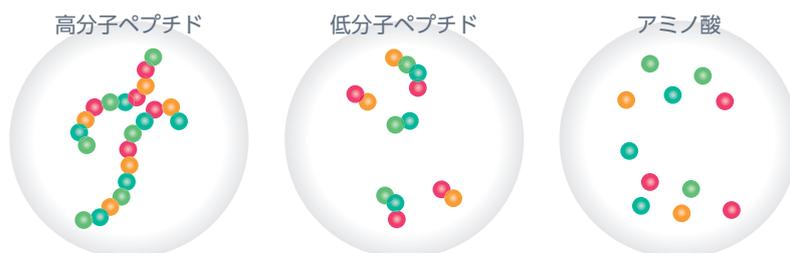


ラトリエール藤光（福岡県久留米市）

最先端テクノロジーに基づいた抽出技術

プラセンタエキスはその抽出方法によって、含まれる物質に大きく違いが出ます。多くのプラセンタエキスで用いられている製法では、プラセンタの魅力であるペプチド類は小さなアミノ酸に分解されてしまい、残すことができません。

日本生物製剤では独自の抽出技術によって、胎盤に含まれる大きめの分子を残すように製造しています。そのため当社のプラセンタエキスには、高分子ペプチド、低分子ペプチド、アミノ酸という、様々な生理活性作用が期待される物質群が含まれることとなります。



製造工程



化粧品原料仕様一覧

商品名	JBP プラセンタ純末 PAC	JBP プラセンタリキッド PC	JBP プラセンタ純末 EC	JBP プラセンタリキッド EC
原料の状態	粉末	液体	粉末	液体
用途	化粧品用原料	化粧品用原料 医薬部外品用原料 (育毛)	化粧品用原料	化粧品用原料
配合目的	保湿、整肌	保湿、整肌 (化粧品) 育毛 (医薬部外品)	保湿、整肌	保湿、整肌
推奨配合量	0.01 ~ 1.0%	0.1 ~ 3.0%	0.01 ~ 0.3%	0.1 ~ 3.0%
化粧品表示名称 (全成分表示)	プラセンタエキス	プラセンタエキス、エタノール、メチルパラベン、プロピルパラベン	プラセンタエキス	プラセンタエキス、フェノキシエタノール
医薬部外品表示名称	na	プラセンタエキス (3)	na	na
INCI 名 (全成分表示)	Placental Protein	Placental Protein, Alcohol, Methylparaben, Propylparaben	Placental Protein	Placental Protein, Phenoxyethanol
原産国	日本	日本	日本	日本
原料由来	国内産豚胎盤 及び 臍帯、羊膜	国内産豚胎盤 及び 臍帯、羊膜	北海道産馬胎盤 及び 臍帯、羊膜	北海道産馬胎盤 及び 臍帯、羊膜
胎盤等収集条件	健康な豚の自然分娩により排出された、正常な胎盤及び臍帯、羊膜を国内の契約農場から収集	健康な豚の自然分娩により排出された、正常な胎盤及び臍帯、羊膜を国内の契約農場から収集	健康な馬の自然分娩により排出された、正常な胎盤及び臍帯、羊膜を国内の契約農場から収集	健康な馬の自然分娩により排出された、正常な胎盤及び臍帯、羊膜を国内の契約農場から収集
総窒素定量	10.0 ~ 14.0%	0.32 ~ 0.40w/v%	12.0%以上	0.8w/v%以上
防腐剤等含有量	添加無し	エタノール 5vol% メチルパラベン 0.225w/v% プロピルパラベン 0.025w/v%	添加無し	フェノキシエタノール 0.8w/v%
性状	微黄白色～淡黄色の粉末で、わずかに特異なおいがある	淡黄色の液で、わずかに特異なおいがある	黄褐色～茶褐色の粉末で、特異なおいがある	淡黄色の液で、特異なおいがある
溶解性	水溶性の粉末	水溶性の液体、油に不溶	水・油に不溶	水溶性の液体、油に不溶
粘度	na	1.3 mm ² /s (20℃)	na	1.6 mm ² /s (20℃)
比重	na	1.002 (20℃)	na	1.018 (20℃)
強熱残分	15.0%以下	1.0%以下	15.0%以下	1.0%以下
蒸発残分	na	2.0 ~ 5.0 %	na	4.5 ~ 6.5%
乾燥減量	5.0%以下	na	5.0%以下	na
吸光度	na	0.05 以下	na	0.20 以下
pH	na	5.5 ~ 6.5	na	5.5 ~ 6.5
重金属	20ppm 以下	20ppm 以下	20ppm 以下	20ppm 以下
ヒ素	2ppm 以下	2ppm 以下	2ppm 以下	2ppm 以下
生菌数試験 細菌	3.0 × 10 ³ CFU/g 以下	30CFU/mL 未満	3.0 × 10 ³ CFU/g 以下	30CFU/mL 未満
生菌数試験 真菌		30CFU/mL 未満		30CFU/mL 未満
大腸菌群	陰性		陰性	
放射能測定	検出せず (検出限界 10Bq/kg)	検出せず (検出限界 10Bq/kg)	検出せず (検出限界 10Bq/kg)	検出せず (検出限界 10Bq/kg)
残留農薬	検出せず / ガスクロマトグラフ質量分析法		検出せず / ガスクロマトグラフ質量分析法	
原料使用期限	充填日より 3 年	充填日より 2 年	充填日より 3 年	充填日より 2 年
保管条件 (未開封)	高温多湿を避け、室温で保管	冷蔵 (10℃以下) で保管	高温多湿を避け、室温で保管	冷蔵 (10℃以下) で保管
保管条件 (開封後)	本品は非常に吸湿しやすく、また、保存料・防腐剤等を含まないため、開封後は速やかに全量を使い切ってください。やむを得ず使い残しを保管される場合は、密封し、未開封の保管条件で保管してください。	開封後は速やかに使用してください。やむを得ず使い残しを保管される場合は、密封し、未開封の保管条件で保管してください。	本品は非常に吸湿しやすく、また、保存料・防腐剤等を含まないため、開封後は速やかに全量を使い切ってください。やむを得ず使い残しを保管される場合は、密封し、未開封の保管条件で保管してください。	開封後は速やかに使用してください。やむを得ず使い残しを保管される場合は、密封し、未開封の保管条件で保管してください。
避けるべき保管条件	水濡・多湿	冷凍	水濡、多湿	冷凍
販売単位	100g 1kg 10kg	1kg 10kg	1kg 10kg	500g 1kg 10kg

食品原料仕様一覧

商品名	JBP プラセンタ純末 PA	JBP プラセンタ純末 P	JBP プラセンタ純末 E	JBP プラセンタリキッド E	
用途	原料の状態	粉末	粉末	粉末	液体
	用途	食品用原料	食品用原料	食品用原料	ドリンク用原料
	配合目的	美容、健康維持	美容、健康維持	美容、健康維持	美容、健康維持
	表示名称 (全成分表示)	豚プラセンタエキス末、 プラセンタエキス末(ブタ)等	豚プラセンタエキス末、 プラセンタエキス末(ブタ)等	馬プラセンタエキス末、 プラセンタエキス末(ウマ)等	馬プラセンタエキス、 プラセンタエキス(ウマ)等 酸味料 又は クエン酸、 保存料(安息香酸 Na)
	1日の摂取目安量	100～700mg/日	100～700mg/日	100～700mg/日	1000～8000mg/日
原材料	原産国	日本	日本	日本	日本
	原料由来	国内産豚胎盤 及び臍帯、羊膜	国内産豚胎盤 及び臍帯、羊膜	北海道産馬胎盤 及び臍帯、羊膜	北海道産馬胎盤 及び臍帯、羊膜
	胎盤等収集条件	健康な豚の自然分娩により 排出された、正常な胎盤及 び臍帯、羊膜を国内の契約 農場から収集	健康な豚の自然分娩により 排出された、正常な胎盤及 び臍帯、羊膜を国内の契約 農場から収集	健康な馬の自然分娩により 排出された、正常な胎盤及 び臍帯、羊膜を国内の契約 農場から収集	健康な馬の自然分娩により 排出された、正常な胎盤及 び臍帯、羊膜を国内の契約 農場から収集
製品情報	総窒素定量	10.0～14.0%	10.0～14.0%	12.0%以上	0.59～0.71w/v%
	保存料、防腐剤、 添加剤等	添加無し	添加無し	添加無し	無水クエン酸 2～3w/v% 安息香酸ナトリウム 0.06w/v%
	性状	微黄白色～淡黄色の粉末で、 わずかに特異なおいがある	黄褐色～茶褐色の粉末で、 特異なおいがある	黄褐色～茶褐色の粉末で、 特異なおいがある	淡黄色の液で、 特異なおいがある
	粒度	na	> 850µm 3%以下 850～300µm 50%以下	> 850µm 3%以下 850～300µm 50%以下	na
	乾燥減量	5.0%以下	5.0%以下	5.0%以下	na
	pH	na	na	na	2.5～3.5
	溶解性	水溶性の粉末	水・油に不溶	水・油に不溶	水溶性の液体、油に不溶
安全性	重金属	20ppm 以下	20ppm 以下	20ppm 以下	20ppm 以下
	ヒ素	2ppm 以下	2ppm 以下	2ppm 以下	2ppm 以下
	生菌数(細菌) (真菌)	3.0×10 ³ CFU/g 以下	3.0×10 ³ CFU/g 以下	3.0×10 ³ CFU/g 以下	30CFU/mL 未満 30CFU/mL 未満
	大腸菌群	陰性	陰性	陰性	陰性
	放射能測定	検出せず (検出限界 10Bq/kg)	検出せず (検出限界 10Bq/kg)	検出せず (検出限界 10Bq/kg)	検出せず (検出限界 10Bq/kg)
	急性毒性	LD50 > 200mg/kg	LD50 > 5000mg/kg	LD50 > 5000mg/kg	
	変異原性	陰性 / 小核試験	陰性 / 小核試験	陰性 / Ames 試験	
	残留農薬	検出せず / ガスクロマトグラフ質量分析法	検出せず / ガスクロマトグラフ質量分析法	検出せず / ガスクロマトグラフ質量分析法	
保管	原料使用期限・ 賞味期限	充填日より3年	充填日より3年	充填日より3年	充填日より1年
	保管条件(未開封)	高温多湿を避け、室温で保管			冷蔵(10℃以下)で保管
	(開封後)	本品は非常に吸湿しやすく、また、保存料・防腐剤等を含まないため、開封後は速やかに全量を使い切ってください。 やむを得ず使い残しを保管される場合は、密封し、未開封の保管条件で保管してください。			開封後は速やかに使用して ください。やむを得ず使い 残しを保管される場合は、 密封し、未開封の保管条件 で保管してください。
	避けるべき保管条件	水濡・多湿	水濡・多湿	水濡・多湿	冷凍
販売単位	1kg 10kg	1kg 10kg	1kg 10kg	1kg 10kg	

※化粧品原料仕様一覧・食品原料仕様一覧の「ブタ原料」はピンク、「ウマ原料」は緑で色分けしています。

会社概要

本社	株式会社 日本生物製剤 (Japan Bio Products Co., Ltd.) 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1丁目 44番 4号 TEL 03-3481-6061 (代表) FAX 03-3481-6065
ギャラリーヴィ富ヶ谷	〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1丁目 30番 22号 メイプルウッドビル 3F、4F TEL 03-3481-6061 (代表) FAX 03-3481-6065
ラトリエール藤光 (工場)	〒830-0054 福岡県久留米市藤光町字枝光 735番地 14 TEL 0942-65-3161 (代表) FAX 0942-65-3165
久留米工場	〒839-0862 福岡県久留米市野中町 1493番地 TEL 0942-38-7650 (代表) FAX 0942-34-5570
研究所	〒839-0864 福岡県久留米市百年公園 1番 1号 久留米リサーチセンタービル (研究開発棟) 2階 TEL 0942-65-5391 FAX 0942-65-5392
技術開発センター	〒839-0864 福岡県久留米市百年公園 1番 1号 久留米リサーチセンタービル (研究開発棟) 2階 TEL 0942-65-5747 FAX 0942-65-5971
設立	1954年 8月 27日 財団法人 久留米組織再生研究所 1970年 10月 15日 株式会社 日本生物製剤
資本金	80,000千円
従業員数	162名 (2021年 7月 31日現在)
事業内容	ヒト胎盤製剤「ラエンネック」製造・販売 プラセンタエキス含有医療用医薬品・医薬部外品・ 健康補助食品・化粧品及びその原体の製造・販売 ヒト胎盤における薬理効果の研究及び新規成分の同定 医療機器の販売

株式会社日本生物製剤

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-44-4

<http://jbp.placenta.co.jp>

問合せ先 市場開発部

TEL : 03-6804-9656 FAX : 03-3481-6065